

# 北海道合気道連盟

HOKKAIDO AIKIDO FEDERATION

Vol. 3

- ◆ 発行日：令和6年8月19日(月)
- ◆ 発行：北海道合気道連盟 〒047-0266 北海道小樽市張碓町560-24  
電話& FAX：0134-55-5886  
Email：aikido.hariusu-dojo@ab.auone-net.jp
- ◆ 発行人：尾崎 响 ◆ 編集責任者：佐藤 圭史 ◆ 事務局：五十嵐 隆行

## 令和6年度第1回理事会・総会

六月十五日(土)、千歳市総合武道館において、令和六年度第一回理事会・総会が開催されました。併せて三時間に及ぶ会議の議案は、すべて承認されました。

①役員改選が行われ、現「役員・理事・監事」全員の再任が承認されました。  
②「合気道北彩道場」が北海道合気道連盟へ加盟することが承認されました。旭川で稽古を行っている合気会登録道場で、活動が順調に行われていることが報告されました。  
③令和五年度の事業報告では、



連盟登録会員と講習会参加者が前年と比べて増えていることが報告されました。コロナ禍後、各団体の活動が活発になっていることが伺えます。

④令和五年度の会計報告では、収支が大幅に改善していることが報告されました。多くの事業を進めながらも経費節減を実現しており、皆様のご協力に感謝申し上げます。

⑤スポーツ協会の助成事業として、北海道小中学生強化練習会を行っています。来年はさらに、高校生を対象とした練習会の実施を検討しています。時期は七月初旬を見込んでおり、高校生の方々の交流を深めていただければと考えています。

⑥令和九年(二〇二七年)に本連盟六十周年記念行事を開催することを再確認しました。

○会議後には役員・評議員の皆さんで情報交換会を実施しました。翌日の春季講習会の講師である梅津翔本道場師範もお招きし、合気道や各団体の近況について意見を交わし、親睦を深めました。

## ご挨拶



会長  
尾崎 响  
合気道オホーツク  
中湧別道場

連盟に生まれ変わりました。当連盟は令和九年度には創立六十周年記念を迎えます。取り組まなければならない案件は山積んでいます。皆様の御協力をいただき、北海道連盟の発展のために努力してまいります。

再び会長に選任いただきました。この二年間、皆様のお力添えをいただき、北海道合気道連盟は新しい



理事長  
佐藤 圭史  
岩見沢合気道会

よりも、後者にあると私は経験的に感じています。創めたことを軌道に乗せ、守ることは困難な道となります。今回、再任という形でお任せ頂きました。上記「十八史略」からの問い掛けを胸に精進いたします。

「創業守成執難」。創始すること、継続すること、どちらが難しいかと問われれば、注目されがちな前者



理事・事務局長  
五十嵐 隆行  
合気道張碓道場

て、連盟活動に取り組んできた成果の賜物だと思えます。コロナの苦難がありました。連盟の会員数は増え、講習会や演武会等も大変盛況となりました。今後も充実した連盟のために少しでも貢献できればと思います。

理事・監事の全役員が再任のご承認をいただきました。これは、執行部と評議員の皆さんが一丸となら

再任理事・監事  
(順不同)



会長  
尾崎 响  
合気道オホーツク  
中湧別道場



副会長  
角谷 篤美  
天北合気道場



副会長  
出崎 太郎  
江差合気会



理事長  
佐藤 圭史  
岩見沢合気道会



理事・事務局長  
五十嵐 隆行  
合気道張碓道場



理事  
熊谷 優範  
道央合気道会



理事  
佐藤 まゆみ  
札幌合気道会



理事  
本間 雅富  
北都真武会



理事  
阿部 ショスリン  
合気道函館道場



理事  
村田 清貴  
千歳合気会



監事  
畑島 秀臣  
苫小牧合気会天心塾



監事  
林 幸恵  
道央合気道会

評 議 員  
(順不同)



合気道旭川道場  
多田 昌弘



合気道札幌研武会  
榎 道夫



合気道滝川道場  
目黒 久雄



合気道室蘭道場  
戸田 実



胆振合気会  
広瀬 肇



札幌国際合気会  
二階堂 充



白滝合気会  
棚橋 昌司



苫小牧合気会天心塾  
市村 一義



合気道釧路道場  
日高 哲一



合気道神武練成塾  
札幌教室  
芳賀 信治



合気道函館道場  
秋山 治人



あいきのまなびや  
久保田 雅士



札幌合気道会  
石垣 昌志



士別合気会  
山下 光行



十勝合気会合気道  
佐藤 圭



釧路合気道同好会  
原 佳大



道央合気道会  
長根山 倫至



合気道北彩道場  
伊知地 一男

# 札幌国際合気会創立30周年演武会

札幌国際合気会

会長 一階堂 充

札幌国際合気会創立三十周年記念演武大会は、令和五年（二〇二三年）十二月九日（土）、北海道立総合体育センター「北海きたえーる」で開催されました。

演武大会では、まず全体での合同稽古を五十分間行いました。準備体操・基本動作・基本技を中心に行いましたが、参加者からは、他道場の方々との交流稽古や普段とは異なる指導内容・方法を体験し新鮮であった、との感想を頂きました。後半は、各道場の演武発表で、道内から、道央合気道会、あいきのまなびや、酪農学園大学合気道部、滝川合気会、岩見沢合気道会、合気道北都真武会、札幌合気道会、合気武道技道会、合気道室蘭道場、合気道天祥社、A&P合気道平和塾、の十一団体が参加し、演武を披露し



てくれました。道場演武の鑑賞を通して、各道場の普段の稽古の様子を思い描いたり、指導者の技に対する姿勢を感じたりしながら、有意義な時間を過ごすことが出来ました。

札幌国際合気会は、一九九三年の夏、札幌で創立されました。その前年の八月、創立者である五人は、日本ユース協会との要請で協会の交流使節団と一緒に、札幌市との姉妹都市であるロシアのノボシビルスク市と他にバルナウル市・イルクーツク市に合気道を紹介してきました。当時のロシア国内はソ連解体後の混乱時期でしたが、日本文化や武術に関心が高く、合気道の紹介先では多くの武術家が見学に来られ、訪問の先々に歓迎された事を覚えて

います。これからも、道内の合気道道場との交流を基に、日本・世界の合気道家との交流を積極的に行いたいと考えています。

# 合気神社 例大祭に参加して

合気道釧路道場

指導部長 日高哲二

令和六年四月二十九日、北海道合気道連盟を代表し、茨城県笠間市岩間にある合気神社の例大祭に参加してきました。初夏の風が爽やかな晴天の中、千五百人を超える参拝者や来賓が出席されました。

午前十一時、神職に続き、植芝守央道主、植芝充央道場長とご家族、来賓が入殿され、合気神社大祭ならびに開祖・吉祥丸道主慰霊祭が執り行われました。およそ一時間の神事が厳かに滞りなく進み、神職退殿後、道主よりご挨拶がありました。私はこの中で、「今年が開祖ご逝去から五十五年、吉祥丸道主ご逝去からは二十五



年にあたります。この間、合気道は世界各地百四十か国に連連団体を持つようになりました。現在があるのは、一日一日の稽古の積み重ねがあるからです。」という趣旨のお言葉に接し、日々の稽古をおろそかにせず、真摯に取り組むことがいかに重要であるかを改めて肝に命じました。

道主のご挨拶の後、奉納演武を道場長、続いて道主が行い、その後直会となりました。参拝者にはお弁当と引き出物のお饅頭、お茶またはお神酒が配られ、神社に隣接する道場の広い敷地の木陰に、敷物を敷いての楽しい懇談の場へと移っていききました。

境内や道場の敷地には、クスノキや桜の大木が生い茂っています。この木々たちは、合気道の黎明期から現在に至るまでの間、

ここで修業を積み、日本各地や世界に飛び立っていった人々を見てきたことでしょう。

私は、日々稽古を続けることで、今日この場に参集した多くの合気道家とも繋がっているのだと感じました。それほどばかりでなく、先人や未来の合気道家とも繋がっているのだと思いを新たにしました。

## 令和六年度 北海道小中学生合気道強化練習会

五月十二日、第二回北海道小中学生合気道強化練習会が、北海道スポーツ協会主催、北海道合気道連盟管で北海きたえーるにて開催されました。連盟加盟の九団体から、昨年よりも多い六十九名の小中学生が参加。様々な色帯を着けた子供達から、道着がまだ真っ白な入会したばかりの子供達までが集まり、沢山の保護者の方にもお越し頂きました。

練習会は尾崎崎会長の開会ご挨拶、佐藤圭史理事長の大会進行によって始まりました。プログラムは阿部ジョースリン理事による音楽に合わせた楽しいダンス、五十嵐隆行事務局長による場の統一感を高める舟漕ぎ運動、佐藤まゆみ理事による分かりやすい説明を交えた準備体操と全体稽古が行われました。稽古では、他道場の相手と組むのに躊躇している子、積極的に自分から組みに行く子、それぞれの個性が表れていました。

次のグループに分けての稽古では、芳賀信治評議員(神武錬成塾札幌教室)と後藤



健太指導員(道央合気道会)が指導に加わりました。上級・中級グループでは座り技、正面打ちや掛かり稽古等のダイナミックな動きに取り組み、初級グループでは体を動かす基本動作から、最後には飛び受け身まで果敢に挑む姿が印象的でした。その後全員で体術ゲームを行い、楽しく前半のプログラムを終了しました。後半の発表会では、各団体がそれぞれ準備してきた技を披露しました。それまで笑顔を見せていた子供達の表情も固くなり緊張感が伝わってきましたが、大勢の方に見守られる中で演武をやり切った姿は遅しくもありました。尾崎会長よる閉会のご挨拶の中で「合気道は楽しくなければなりません。でもその中に厳しさも必要」というお言葉通り、子供達の笑顔と真剣に取り組む姿に感動を覚える素晴らしい会でした。

(合気道張碓道場 宮腰真理)

## 第61回 全日本合気道演武大会出場

北海道連盟代表  
合気道張碓道場

五十嵐 隆行

二〇二四年五月二十五日、日本武道館で開催された第六十一回全日本合気道演武大会に、北海道合気道連盟として当道場より出場させていただきました。このような貴重な機会をいただきまして感謝申し上げます。

日本武道館で演武が出来るのは滅多にない機会であり、最終的には二十二名という多くの会員が名乗りを挙げてくれました。



た。約二カ月の準備期間を経て臨みましたが、道場の目標は「出来るだけ多くの技を行うこと」としました。時間を有効に使い、その演武を濃密なものに昇華させること。そのために取り組んできたことが道場全体の技量を大きく引き上げることに繋がりました。

そして演武大会当日、「日頃の成果を遺憾なく発揮する、武道の聖地での演武自体を楽しむ、先生方の洗練された演武をしっかりと拝見する、合気道の大きな輪を感じる」ことを皆さんに期待して日本武道館へたどり着きました。

「演武」は、日頃研鑽してきた自己の姿を披露することです。礼から始まり礼に終わる演武は、演武者の心技体を映し出すものとなります。全日本演武大会という大舞台でそれを充分に発揮することは難しいかもしれませんが、しかしながら、張碓道場の演武を終えた皆さんの表情を見て、「やりきった」とことが分かり、嬉しさと道場としての頼もしさを実感しました。

道場開設から約八年、日本武道館という舞台で会員の皆さんと一緒に演武が出来たことは、道場主としての念願であり、大変感慨深いものでした。今度も皆さんと合気道を楽しみ研鑽していこうという思いを胸に、日本武道館を後にしました。

## 第61回全日本合気道演武大会出場

## 指導者演武

## 道央合気道会

## トラビス・トムソン・カーター

道主は、合気道の稽古や世界を理解する上で、先人の教えとともに、和の心が大切であることをお話しされました。世界が変化していく中で、私たちは社会に積極的に貢献しながら、調和的に適応していくことが大切です。長い時間をかけて受け継が



れてきた基礎をしっかりと把握することは、そのための手段を与えてくれます。

さまざまな背景を持つ多くの人々がこのことを演武で表現し、肉体的、精神的、霊的な意味での調和とは何かをより深く知ることができました。

肉体的な調和は、さまざまな方法で表現されてきました。例えば、スピードと正確さを駆使する参加者もいれば、直線的で直接的なアプローチを採用する参加者もいました。また、円形で滑らかなパフォーマンス、エネルギーで自発的なテーマ、穏やかで整然とした動きなどもありました。共通していたのは、投げと受けが同時に行われていたことだと思っています。

次に、目に見えにくいけれど、精神的な調和が見られました。ここでもまた、さまざまなスタイルがありました。意図的な攻撃、相互的な動き、適切な受け身に見られる共通のテーマがありました。これは、集中し、人生に目的を持つことの重要性を示していると思います。

最後に、霊的という側面では、視覚的にも描写的にもとらえどころがないですが、武道館全体を通して統一されたエネルギーとして感じられました。

この演武大会への参加は、カナダでの合気道の基礎から、愛知での精練、そして北海道でのより深い発見へと続く私の合気道の旅とよく一致しています。

これからも皆さんと合気道の探求を続けたいと思います。

## 第61回全日本合気道演武大会出場

## 指導者演武

## 道央合気道会

## 後藤 健太

今回の演武大会の開会式で、植芝守央道主より「去年の演武会はコロナ過を経て、よみがえりの大会でした。今年は一歩踏み出して前に進む大会にしていきましょう」と話されていました。

コロナ過の時は思うように稽古ができず、生活様式も変わっていき、歯痒い思いをしながらも、インターネット配信や



ZOOMを使って稽古を続けていた事を思い出し、今の自分が置かれている状況は当たり前ではない事。そして全日本合気道演武大会にたくさんの方が集まり演武でできることに幸せと感謝を忘れてはいけなないと気を引き締め、北海道連盟の代表としては弱卒ではありますが演武させていただきました。

各連盟の師範、他団体の演武を見て、勉強することができ、今後の稽古に活かすことができる機会となりました。

植芝守央道主や植芝充央道場長の演武、本部道場指導部師範の演武を間近で見ることができるのは、全日本演武大会ならではの楽しみでしょうか。

そして小林保雄師範、多田宏師範の両師範の気が途切れない演武を見て、自分もあのように演武ができる様になりたいと新しい目標もできました。

何歳になっても修行を怠らず、合気道を続けて行けるように鍛錬と稽古を続けていきますので、北海道合気道連盟の皆様にも今後ともよろしくご指導をお願いいたします。

最後に私自身双子で合気道を稽古していますが、全日本の舞台上で双子での演武をすることは、目標であり、夢でもあったので叶うことができて幸せでした。

今回、このような機会をいただき、本当にありがとうございました。

## 第61回 全日本合気道演武大会出場

## 企業団体演武

セーフティガード警備(株)  
合気道同好会

## 小松 次一

第六十一回全日本合気道演武大会、海外からも多くの演武者が集う大会に、企業道場として、参加させていただきました。

昨年度から企業道場として演武に参加させてはいただいておりますが、全日本合気道演武大会で演武させていただくことは大変貴重であり、非常に光栄であります。

今回の演武会参加で多くの道場の演武を拝見しました。道場の中に多数が入り



混じって稽古する様は圧巻でした。これは周囲の状況を把握、自分のいる位置、相手の技量、自分の技の仕上がりが具合などを把握したうえで技を行う、まさに調和することができて初めてなしうることだと感じました。

限られた空間の中で周囲に調和して技を発揮できることは合気道の目標とも言えません。相手との調和、周囲と一体になることを重んじる武道であり日常生活でも求められるものであると感じました。

合わせることは周囲の観察から始まり、技が終わっても継続していかなければ他の人の動きを阻害することになりかねません、それだけでなく危害を発生させる原因にもなりかねません。自分だけができて、早くてもよくない。自分だけができて、遅れたりすることはもつてのほかです安全確保の観点からも常に意識すべきことです。

演武の順番が近づき、演武場所に向かう途中ずっと「合わせよう、みんなと同じように動かなければ」と思いながら道場に向かいました。太鼓が鳴り響いた時までは「合わせる」と考えていましたが技に入ると自分の技をどうしようと思うだけで調和、合わせるまでは至りませんでした。企業道場の代表としての参加、毎日の生活は稽古の延長、相手や周囲の人たちと合わせることは仕事する上で大事なことです。合わせることを調和させることを肝に銘じて稽古を重ね、仕事を進めていきます。

## 令和6年度 春の講習会



北海道合気道連盟は六月十六日、千歳市総合武道館に梅津翔本道場指導部師範をお迎えして春期講習会を開催しました。

北海道内の加盟団体と学生合気道団体から約百五十名が参加しました。

午前中は片手取り転換、呼吸法、四方投げ、一教、正面打一教、入身投げ、小手返し等を行いました。単独動作を含め、手の取り方、打ち込み方、運足等基本をみっちり指導して頂きました。

午後は転換、諸手取り呼吸法、片手取り四方投げ、座技正面打一教、横面打ち入身投げ、二教、片手取り回転投げ等を行いました。座技正面打一教では、受けの取り方、練り合いの稽古が出来るよう指導されました。一教の抑える腕の角度や抑え方を指導されている時、受講生が師範の周りを囲み近寄っていき、師範は予想外のことだったらしく、『皆さんの熱気が伝わりました』と嬉しいお言葉をいただきました。また、残心を疎かにしないようにとのご指摘も頂きました。

今回の講習会を通じて、改めて基本の大切さを痛感致しました。今後の稽古に活かしていきたいと感じました。

(北都真武会 本間雅富)

# 新加盟団体紹介

## 合気道北彩道場

代表 伊知地 一男

このたび、北海道合気道連盟の一員として加盟することが出来て大変光栄に感じています。

北彩道場の加盟に当りお力添えとご尽力を頂いた関係者の皆様に感謝を申し上げますとともに、これからは連盟の一員と



して少しでも活躍出来ればとの思いで身の引き締まる所存であります。

北彩道場開設の契機は合気道を愛する者が数人集まり、稽古の場所を求めながら不定期に稽古を繰り返していた頃に、道場の開設を求める意見が沸き上がったタイミングと、現在主たる稽古場所として指定している東光スポーツ公園武道館の令和二年四月一日に供用開始とが運良く重なった事で稽古場所が確保出来たので、令和二年七月北彩道場を開設し、開設の時期と相まって稽古時間の確保と稽古を希望する人員が集まったので、令和三年九月(財)合気会登録道場として申請し認可されました。さらに北海道合気道連盟への加盟を目標に、日々の活動を続け稽古に励んで来た成果であると思います。

北彩道場の特色としては、下は小学四年生から上は七十代で、武道館主催による市民体験教室に参加された親子さんの入会、また興味をお持ちの方からのお問い合わせにより実際に見学及び一定回数の体験を通してから入会をして頂いています。現在は武道館での稽古開始前に毎回畳の設置及び片付とやや負担を感じていますが、小学生を交えて少人数でも和気あいあいと楽しく稽古を続けております。

旭川の人口比率に対しこれまで稽古の場が少ないと感じており、先輩方のご指導を得ながら切磋琢磨に努め微力ながらも合気道の周知と普及に尽力出来るよう稽古を続けたいと考えています。

## 第21回 全日本合気道連盟 道主特別講習会

◆ 期 日：十月六日(日)

◆ 場 所：国立オリンピック記念青少年総合センター(代々木)

◆ 時 間：十一時～十二時三十分

◆ 主 催：全日本合気道連盟

◆ 会 費：三、〇〇〇円

◆ 問合せ：全日本合気道連盟

〇三ー六四五七ー三三二五

## 第12回 全国合気道指導者研修会

◆ 期 日：令和六年十一月一日(金)～十一月三日(日)

◆ 場 所：日本武道館研修センター(千葉県勝浦市)

◆ 主 催：(公財)日本武道館

(公財)合気会

◆ 問合せ：(公財)合気会

〇三ー三二一〇三ー九二三六

公益財団法人合気会認定道衣

# 百年の伝統 株式会社 岩田商会

TEL: 03-3209-6888  
MAIL: iwataco@m13.alpha-net.ne.jp



ONLINESHOP



公益財団法人合気会  
公認道衣 販売開始決定!



シメントの案内

### 東海堂 SHOP 水道橋店

〒113-0033 東京都文京区本郷 1-4-11 岡野ビル  
TEL : 03-5840-8030 FAX : 03-5840-8033  
営業時間 : 10:00 ~ 19:00 定休日 : 年末年始・夏季

### 東海堂 SHOP 博多店

〒812-0022 福岡県福岡市博多区神屋町 6-18  
神屋ビル101号  
TEL : 092-263-6891 FAX : 092-263-6892

### 東海堂 SHOP 名古屋店

〒461-0004 愛知県名古屋市中区葵 1-16-26  
貴久ビル603号室  
TEL : 052-937-2560 FAX : 052-937-2561

### 東海堂 SHOP 難波店

〒556-0011 大阪府大阪市浪速区難波中 3-8-22  
新川清水ビル2F  
TEL : 06-6633-3277 FAX : 06-6633-3278

### 横浜営業所

〒231-0028 神奈川県横浜市中央区翁町 2-8-6  
第二東里ビル214号室  
TEL : 045-305-6923 FAX : 045-345-5589

※ 大会等の催事出店の為、臨時休業となる場合があります。

# 東海堂

<https://www.tokaido.tokyo>

Facebook Twitter Instagram 絶賛更新中!

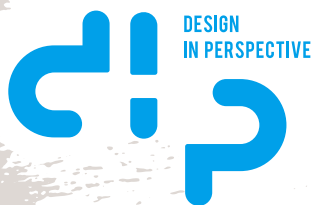


## セーフティガード警備株式会社 SAFETY SECURITY



本社札幌 / 東京支社 / 神奈川支社  
旭川営業所 / 福岡営業所  
ホームページ 電話番号 011-727-3929

交通誘導警備・施設警備・身辺警備・貴重品運搬輸送警備 警備員募集中!!



DESIGN  
IN PERSPECTIVE

多様なメディアの時代、「視点」を持ったクリエイティブを。

- 低予算動画ソリューション
- CMSウェブサイト制作
- デジタルカタログ制作
- イラスト・アートワーク
- 各種印刷・サイン・ラッピング



株式会社 第一プリンティング

〒113-0022 東京都文京区千駄木3-45-2 TEL.03-3822-7531 FAX.03-3822-0304 <http://www.daiichiprinting.co.jp>

(有)国際企画センターは(公財)合気会主催の

「全日本合気道演武大会」「国際合気道大会」の記録映像販売をお手伝いしています。

在庫

# 全日本合気道演武大会

第48回大会～第59回大会

# 国際合気道大会(IAF)記録映像

第11回～第12回

★ご用命は下記までどうぞ!

〒143-0024 東京都大田区中央 5-18-1

(有)国際企画センター

電話 03-3755-1258

E-mail: ozakisho1818@gmail.com